



2021年12月23日

各 位

会 社 名 共同ピーアール株式会社

代表者名 代表取締役社長 谷 鉄也

(コード番号：2436)

問合せ先 取締役コーポレート本部本部長 信澤 勝之

(TEL：03-6260-4850)

株式会社VAZの株式取得（連結子会社化）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、資本業務提携先の株式会社VAZ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：小松 裕介、以下「VAZ社」といいます。）の株式を既存株主より追加取得し、連結子会社化することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 株式の取得の理由

当社は、近年多様化するPR業務において、マーケティングPR業務や、SNS・YouTube等を活用したPR業務が増加傾向にあります。そのような中、クリエイターを活用したPRや動画を使ったPR等、様々なPR業務を受託することが多くなってきており、すでに業務提携を行っているVAZ社との更なる連携強化を進めるため、VAZ社の株式を既存の株主より追加取得し、連結子会社化することといたしました。同社は、インフルエンサーマーケティング事業や当社の課題となっている若年層向けマーケティングに特化しており、実績を豊富に有しております。同社を連絡子会社化することは、当社グループの事業の更なる強化に加え、インフルエンサーマーケティング事業や動画PR業務の展開に大きく寄与するものと考え、この度の株式取得を決定いたしました。

2. 異動する子会社（株式会社VAZ）の概要

(1)名称	株式会社VAZ
(2)所在地	東京都中央区日本橋浜町 3-23-1 ACN日本橋リバーサイドビル6F
(3)代表者の役職・氏名	代表取締役社長 小松 裕介
(4)設立年月日	2015年7月22日
(5)事業内容	インフルエンサーマーケティング事業、メディア事業
(6)資本金	100,000,000円
(7)発行済株式総数	16,400株
(8)大株主及び持株比率	相手先の意向により非開示とさせていただきます。
(9)上場会社と対象会社との関係	資本関係：当社を割当先としたC種優先株式による第三者割当増資を実施しており、当社は3.66%の株式を保有しております。
	人的関係：取締役5名のうち1名は当社の取締役が兼任しております。
	取引関係：該当事項はありません。

(10)直近3年間の経営成績及び財政状態			
決算期	2019年6月期	2020年6月期	2021年6月期
純資産	701,373千円	350,354千円	215,410千円
総資産	922,163千円	574,595千円	363,462千円
1株当たり純資産	70,173円	35,035円	21,541円
売上高	1,431,118千円	1,032,483千円	800,342千円
営業損失	△225,696千円	△325,861千円	△104,848千円
経常損失	△230,297千円	△310,617千円	△91,594千円
当期純損失	△232,939千円	△351,019千円	△92,553千円
1株当たり当期純損失	△23,293円	△35,101円	△9.253円
1株当たり配当金	-	-	-

3. 株式取得の相手先の概要

①個人

(1)名称	谷 鉄也
(2)所在地	愛知県名古屋市
(3)上場会社との当該個人との関係	当社の代表取締役であります。

②事業会社

(1)名称	複数企業 ※1
(2)所在地	主として東京都内
(3)上場会社との当該個人との関係	資本関係、人的関係、取引関係等該当事項はありません

※1 株式取得の相手先の意向により非開示とさせていただきます。

4. 取得前後の持分所有割合の状況

(1)異動前の所有株式数	600株 (議決権600個、議決権所有割合 3.66%)
(2)取得株式数	5,991株
(3)取得価格	取得価格額につきましては、当社グループ連結純資産の15%未満であります。詳細につきましては相手先の意向により非開示とさせていただきますが、公平性・妥当性を確保するため、第三者算定機関による株式価値の算定結果を総合的に勘案して決定しております。
(4)異動後の所有株式数	6,591株 (議決権6,591個、議決権所有割合 40.19%)

5. 日程

(1)株式譲渡契約締結日	2021年12月23日
(2)株式譲渡実行日	2022年1月14日(予定)

6. 今後の見通し

2021年12月期の業績に与える影響は軽微であります。2022年12月期以降の当社グループの業績及び連結業績に与える影響は、今後精査した上で、確定次第速やかに開示いたします。

7. 公平性を担保するための措置及び利益相反取引を回避するための措置に関する事項

当社は株式会社プルータス・コンサルティングを第三者算定機関として選定し、本取引における株式の取得価額が当社にとって財務的見地から妥当である旨の意見書(いわゆる「フェアネス・オ

ピニオン」) および算定書を取得しております。

また、当社代表取締役谷鉄也は、株式取得の相手先の一つであり、かつVAZ社の取締役を兼任しているため、利益相反を回避する観点から、本取引に係る当社取締役会決議に参加しておりません。

以上